令和２年度
ひょうご防災リーダー講座受講者募集

～地域防災の担い手となるリーダーをめざしましょう！～

近年、大阪府北部地震、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震、台風災害等と大きな災害が全国各地で多発し、改めて自然災害の恐ろしさを強く感じたところです。

また、今年に入り新型コロナウイルス感染症が世界的にも蔓延し猛威を振るっています。こうしたことを踏まえ、今後、発生が懸念される南海トラフ巨大地震をはじめとした様々な自然災害や原発事故等の大規模事故、また、市民レベルで考えなければならない感染症対策にも焦点を当て、人命の安全を第一に考え、行政はもとより県民一人ひとりの防災への取り組みをより一層促進させる必要があります。

このような観点から、地域防災の担い手である自主防災組織等のリーダーの育成を目的とした「令和２年度ひょうご防災リーダー講座」を10月から約半年間にわたり、計12日間開講します。

本年度の講座の特徴としては、「突発的な自然災害にどう対処するか」、「市民レベルでの感染症にどう向き合うか」等をキーワードに据え、日本の防災分野の一流講師陣による講義に加え、特に突発的な自然災害等に備えるため、自主防災組織等の地域コミュニティが主体となって取り組むことが出来る実戦的なプログラムを提供します。地区防災計画づくり、マイ避難カードづくり、避難行動訓練ゲーム、コロナ禍での避難のあり方や避難所設置・運営訓練、地図等（GIS 含む）を活用した各種ワークショップ、普通救命講習等バラエティーに富んだカリキュラムを構成しています。

日　　程　令和２年10月～令和３年３月のうち　12日間

会　　場　兵庫県広域防災センター

受講対象　現在、自主防災組織で活躍されている方や、今後、自らの地域で積極的に地域防災の担い手として活動しようとされる方で、兵庫県内在住、在勤、在学（高校生以上）の方
※過去に防災リーダー講座を修了し、既に「ひょうご防災リーダー」の称号が授与された方は応募することができません。

募集人員　88名
（今年度は、コロナ感染症対策のため、定員を減らしています。なお、毎回、入館時のマスク着用、手指消毒、検温等を実施致します。発熱等体調不良の方の受講はご遠慮願います。）

申込期間　令和２年８月１日(土)～定員に達し次第終了

受 講 料　無　料（教材等の一部実費負担あり）

修了要件　○右頁、下段を参照願います。

講座修了後は…　知事名の修了証と「ひょうご防災リーダー」の称号が授与され、地域防災の担い手として活動していただきます。さらに、日本防災士機構が認定する防災士試験の受験資格が付与されます。また、居住地（又は勤務地）の県民局、市町に修了者名簿を送付し、活動機会を提供します。

申込方法　インターネットもしくは郵送でお申し込み下さい。
※インターネットの場合は、広域防災センターホームページ（http://www.fire-ac-hyogo.jp/）の「令和２年度ひょうご防災リーダー講座参加申込」ページから必ずお申し込み下さい。
※郵送の場合は、別紙受講申込書に必要事項を記入の上、お申し込み下さい。(裏面住所参照のこと)
なお、FAX での申し込みは受付けません。

令和２年度「ひょうご防災リーダー講座」カリキュラム

※講師等の都合により講義日、講義内容を変更する場合があります。

	第１時限（10時15分～11時35分）	第２時限（12時30分～13時50分）	第３時限（14時10分～15時30分）
１回目 10月18日 (日)	開講式 「国難(パンデミック含む)と地域の災害に備える」 【関西大学社会安全研究センター長・ 特別任命教授　人と防災未来センター長 河田　惠昭　氏】	オリエンテーション 「施設紹介・自己紹介・役割分担等・ワークショップ」	
２回目 10月24日 (土)	地域防災とその取組事例について 【兵庫県立大学環境人間学部准教授 木村　玲欧　氏】	地図を生かした地域防災力向上対策について 【兵庫県立大学准教授　浦川　豪　氏】	地域における災害時要援護者対策 【兵庫県立大学准教授　阪本　真由美　氏】
３回目 11月７日 (土)	行政の危機管理（感染症対策含む） 災害対応と教訓 【関西国際大学教授　村田　昌彦　氏】	地域防災、災害医療及び公衆衛生（感染症対策時の避難所運営ワークショップ含む） 【高知県立大学大学院看護学研究科教授　神原　咲子　氏】	
４回目 11月21日 (土)	風水害の発生メカニズムとその対応 【神戸地方気象台防災気象官】	被災者の生活支援制度・被災者生活・災害時要援護者対策（ワークショップ） 【関西大学社会安全学部教授　山崎　栄一　氏】	
５回目 12月５日 (土)	近年の豪雨による水害・土砂災害発生 ～メカニズムの解明と犠牲者ゼロを目指して～ 【神戸大学名誉教授　沖村　孝　氏】	南海トラフ地震・津波発生メカニズムと 内陸地震（山崎断層帯地震）について 【関西大学社会安全学部准教授 奥村　与志弘　氏】	建物の耐震化について 直下型地震と長周期地震動の違いについて 【名古屋大学 減災連携研究センター長・教授 福和　伸夫　氏】
６回目 12月19日 (土)	地域防災力向上のための避難所運営（感染症対策含む）ワークショップ（講義及び演習） 【兵庫県広域防災センター職員】		地域の自主防災組織における 危機管理とタイムライン 【東京大学生産技術研究所准教授 沼田　宗純　氏】
７回目 １月９日 (土)	地域防災と超広域大規模災害に備える 【神戸学院大学現代社会学部教授 松山　雅洋　氏】	普通救命講習 【三木市消防本部・小野市消防本部・広域防災センター職員】	
８回目 １月16日 (土)	地域防災と災害ボランティアについて 【ひょうごボランタリープラザ 高橋　守雄　氏】	災害情報が地域と人命を救う ―現場で考えた防災 【国士舘大学教授 山崎　登　氏（元 NHK 解説委員）】	今後の原子力災害対策 【京都大学原子炉実験所教授 中島　健　氏】
９回目 １月23日 (土)	地区防災計画と地域防災の実践活動と その課題 【関西国際大学教授　川脇　康生　氏】	避難行動ワークショップ（EVAG）〈風水害版〉 「いろいろな人の立場で考えよう、避難行動訓練 EVAG」 【国土防災技術(株)　土佐　信一　氏】	
10回目 ２月13日 (土)	大規模災害時の複合災害（感染症含む）における 避難のあり方（在宅避難含む）について 【東京大学大学院准教授　廣井　悠　氏】	地域の自主防災組織における災害対策本部図上演習 （タイムラインを活用）について 【兵庫県広域防災センター職員】	
11回目 ２月20日 (土)	防災体験学習 １講時目　ドローンを活用した地域防災について（体験含む） ２講時、３講時目　放水体験・簡易救出器具取扱体験・ロープ結索・煙避難体験・地震体験、備蓄倉庫見学 【広域防災センター職員】		
12回目 ３月13日 (土)	地域の防災リーダーに期待すること 【神戸大学名誉教授　室崎　益輝　氏】	兵庫県防災士会からの説明 閉講式	防災士試験（希望者のみ）

○修了要件

① 上記カリキュラム（防災士試験を除く。）の内、３分の２以上の出席
② 補完レポートの提出（必須）
③ 普通救命講習修了